

種イモの貯蔵前処理はサツマイモ基腐病による貯蔵中の腐敗防止に効果的

種イモの貯蔵前に、洗浄、選別、調製、種イモ消毒、風乾の一連の処理を施すことで、貯蔵中の基腐病による塊根腐敗を抑制

背景・目的

- ・サツマイモの種イモは無病の圃場から採取するのが原則だが、多発地域では、健全な種イモの確保が困難
- ・種イモが基腐病に罹病している可能性が高い場合でも、やむを得ず種イモを確保する対策技術が必要

成果の内容

- ・貯蔵中、罹病種イモに接した部位から、周囲の健全種イモへ感染が拡大
- ・種イモは、株基部に病徴のない株から採取
- ・種イモの貯蔵前処理により、貯蔵中の塊根腐敗を抑制

期待される効果

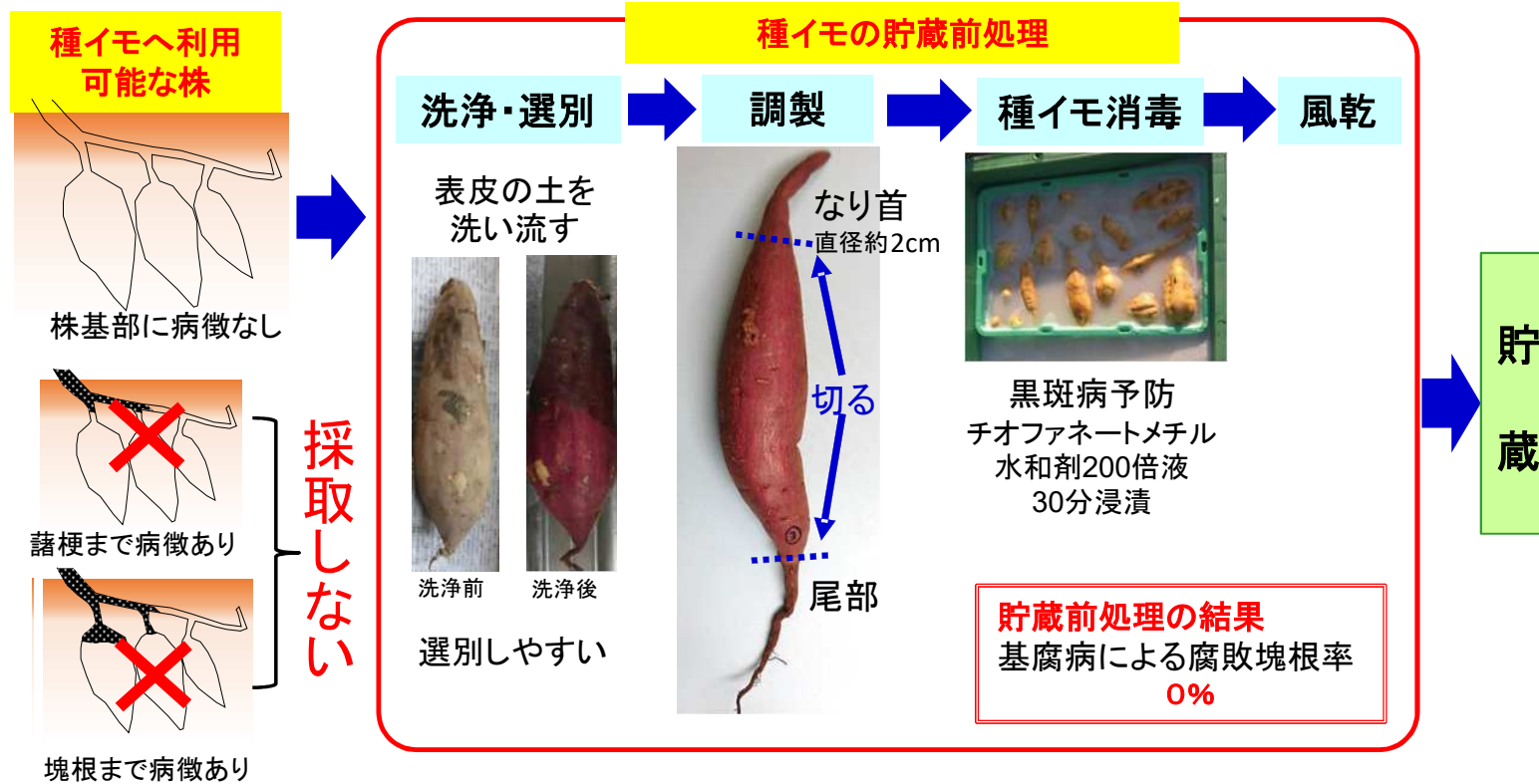
- 基腐病発病リスクの低い種イモの確保
- 健全な種イモの確保
- 基腐病発生低減

○普及対象・範囲
サツマイモ生産者

鹿児島県農業開発総合センター
生産環境部病理昆虫研究室

(イノベーション創出強化研究推進事業01020C)

(R02)



貯蔵